

史跡 田小屋野貝塚 (つがる市)



貝塚は全国的に見て太平洋岸に多く分布しており、田小屋野貝塚は日本海側にある数少ない貝塚として重要です。縄文時代前期の竪穴住居のほか、貝類を中心に、魚類、鳥類、ほ乳類など大量の骨が発見されており、当時の食生活や狩猟・漁労に関する貴重な情報が得られました。



竪穴建物内貝塚



2012年度に確認された竪穴建物内に形成されたヤマトシジミを主体とした貝塚(縄文前期)。

縄文前期の人骨

貝塚の中から出土した人骨。骨盤の観察から出産歴のある成人女性の人骨ということがわかっています。



人骨検出作業

人骨の検出にかかわらず、遺跡の調査は慎重に進めていきます。



貝輪製作体験

「縄文体験」として、土器づくりやベンケイガイ製貝輪の製作体験イベントなどを行っています。参加者は大人も子供も夢中になって貝輪づくりに励み、縄文人の気分を味わっています。



田小屋野貝塚ウォーク

遺跡の中を歩き、地形や景観、貝塚や人骨の出土地点などを確認するイベントです。最近では地元の高校生が解説を行っています。



DATA 基本情報

- 見学施設** つがる市木造亀ヶ岡考古資料室
〒038-3283 つがる市木造館岡屏風山195
- 開館時間** 9:00 ~ 16:00
(月曜日、祝日の翌日、年末年始休み)
- 見学料金** 大人200円、高校・大学生100円、小・中学生50円

詳しい情報はこちらから➡

